The University of Osaka
大阪大学蛋白質研究所セミナー

生体系安定同位体利用NMR技術の開発と利用促進

Developing Stable-Isotope-Aided NMR Technologies for Biological Systems
– A Memory of Kainosho Lab –

日　時：2026 年 3月 23日（月）13:00 ～ 24日（火）11:40
開催地：東京都立大学国際交流会館　および Zoomオンラインセミナー（要事前登録）

2026 年 3月 23日（月）

13:00-13:10　開会挨拶：大阪大学蛋白質研究所 所長　栗栖 源嗣

セッション 1　座長：児嶋 長次郎
13:10-13:30　カルボニル炭素 ^{13}C NMRシグナルの重水素同位体シフトを利用するアミド水素交換速度の測定法　内田 健一（帝京大学）
13:30-13:50　安定同位体標識が切り拓いた異種核間スピン相互作用利用NMR法の発展　楯 真一（広島大学）
13:50-14:10　^{13}Cを利用する　大木 進野（北陸先端科学技術大学院大学）
14:10-14:30　安定同位体標識分子設計を起点とするNMR技術の発展と継承　寺内 勉（セント・ジュード小児研究病院）

（14:30-15:00　休憩）

セッション 2　座長：宮ノ入 洋平
15:00-15:20　核酸標的低分子創薬における安定同位体利用NMR技術の開発と応用　児嶋 長次郎（横浜国立大学）
15:20-15:40　異方性テンソルを利用した生体分子の構造解析手法の開発　野村 薫（サントリー生命科学財団）
15:40-16:00　mRNA前駆体スプライシングに関与する因子の構造生物学的研究　桑迫 香奈子（武蔵野大学）
16:00-16:20　NMR蛋白質立体構造決定におけるCYANAプログラムのSAIL法への最適化　池谷 鉄兵（東京都立大学）

（16:20-16:40　休憩）

セッション 3　座長：武田 光広
16:40-17:00　2000年代前半のSAIL法から今に続くファーマでの安定同位体標識　鳥澤 拓也（中外製薬）

2026 年 3月 24日（火）

セッション 4　座長：伊藤 隆
9:30-9:50　SAIL法により拡がるタンパク質NMR研究　武田 光広（東京薬科大学）
9:50-10:10　核緩和最適化SAILを用いた高分子量蛋白質の構造動態解析法の開発　宮ノ入 洋平（大阪大学）
10:10-10:30　同位体シフトをめぐる甲斐荘先生とのご縁　三島 正規（東京薬科大学）

（10:30-10:50　休憩）

セッション 5　座長：武田 光広
10:50-11:10　無細胞タンパク質合成系を活用する安定同位体利用NMR技術　木川 隆則（理化学研究所）
11:10-11:30　生細胞内蛋白質の立体構造解析に資する安定同位体利用NMR技術　伊藤 隆（東京都立大学）

11:30-11:40　閉会挨拶：大阪大学蛋白質研究所 副所長　北條 裕信

【世話人】伊藤 隆（東京都立大学）児嶋 長次郎（横浜国立大学）宮ノ入 洋平（大阪大学蛋白質研究所）

【連絡先】児嶋 長次郎
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学化学棟 306 室
E-mail: kojima-chojiro-xk@ynu.ac.jp

参加登録はこちらからお願いします。